



くすの木



令和7年7月9日  
第5号

八王子市立高嶺小学校  
校長 松久保 雅和

URL <http://hachioji-school.ed.jp/takne>  
学校所在地 八王子市北野台四丁目21番1号 Tel 042-635-6366

## 学校評価保護者アンケート結果について

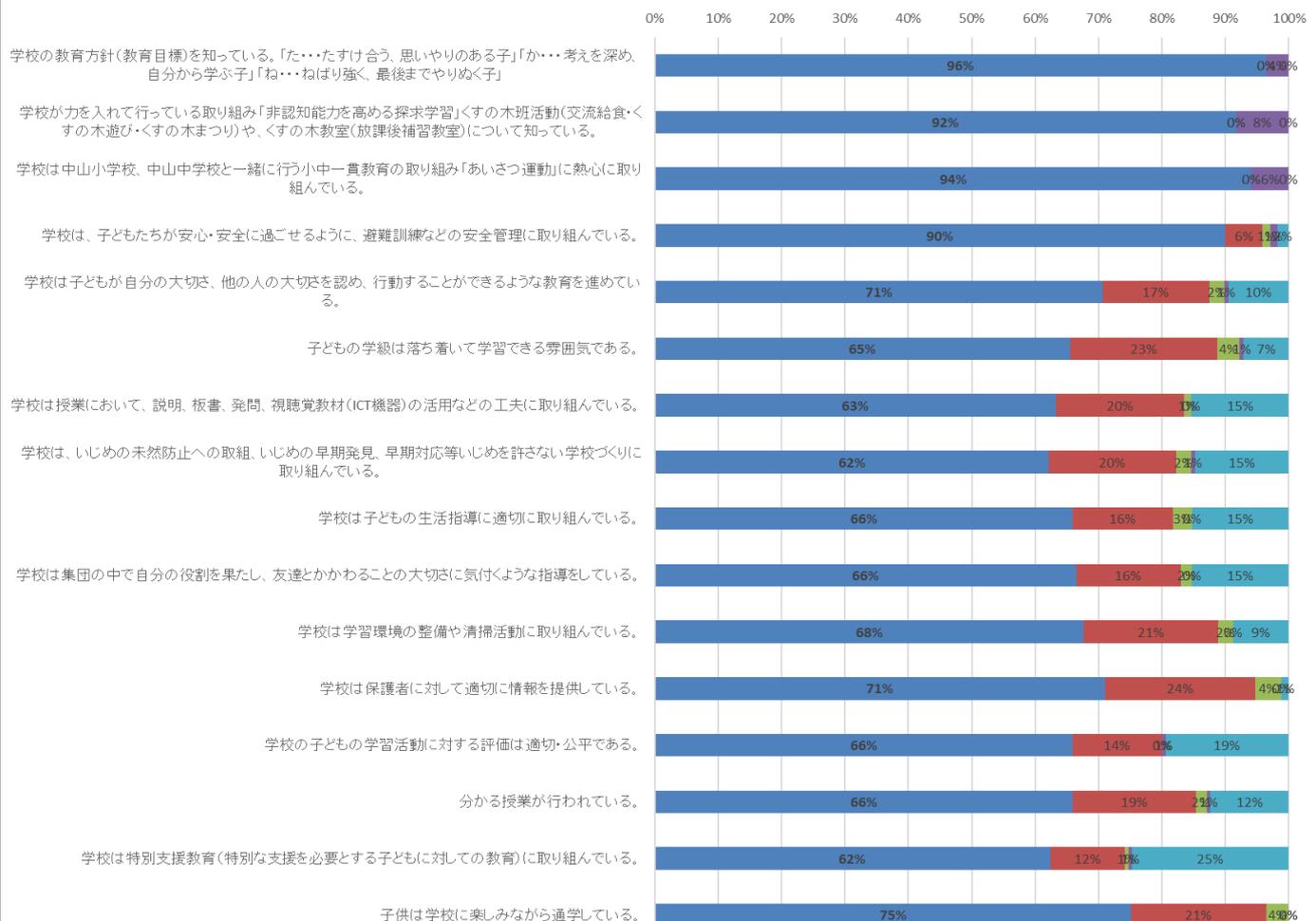
校長 松久保 雅和

7月になり、1学期も残すところ7日の登校となりました。保護者の皆様には本校の教育活動への多大なご協力を賜り、感謝申し上げます。6月は13日も真夏日があり、今年の夏も厳しい暑さが予想されます。元気に夏休みを迎えられるよう熱中症対策を十分に講じながら、学校生活を過ごしてまいります。

さて、保護者の皆様には6月に学校評価アンケートへのご協力をいただきありがとうございました。教職員全員で確認いたしました。ホームページの更新などすぐに改善できることについては改めていきます。また、施設や熱中症対策などについては教育委員会にも相談しながら前向きに検討していきます。今回のアンケートで特に気になったことが、わからないとの回答の多かった項目についてです。学校からの説明が十分ではなかったと思いますので、わからないが15%を超えた項目について詳しく分析していきます。

### 令和7年度 6月 学校評価アンケート(保護者)

■1-あてはまる ■2-ややあてはまる ■3-ややあてはまらない ■4-あてはまらない ■5-わからない (判断できない)



7.「学校は授業において、説明、板書、発問、視聴覚教材（ICT 機器）の活用などの工夫に取り組んでいる。」については、1年生はクロムブックがまだ配布すらされていない状況でのご回答はできなかったと思われます。2学期からは徐々にクロムブックを使用した学習を進めます。

8.「学校は、いじめの未然防止への取組、いじめの早期発見、早期対応等いじめを許さない学校づくりに取り組んでいる。」については、まず学級でトラブル等があった場合は当事者全員が納得するまで話し合いをします。そのことを学年で共有し管理職に報告があります。その後、関係の保護者にも状況をお伝えしています。毎週火曜日に夕会、金曜日の夕方にいじめ対策委員会、生活指導夕会を行い、各学級での情報を共有し、場合によっては対策を検討し、どの教職員でも同じ対応ができるように努めています。各学期1回友達アンケートを実施し、困っていることはないか一人一人に確認しています。担任が少しでも気になることがあれば、本人から詳しく聞き取りを行っています。

9.「学校は子どもの生活指導に適切に取り組んでいる。」については、高嶺小のやくそくを年度初めに教職員で確認してから、児童への指導をスタートしています。子どもたちが進んで守りたくなることを目指しています。また、校内掲示により意識付けを図っています。月初めには全校朝会と学級指導で月の生活目標の話をしています。それに伴い月末には月の目標を振り返っています。名前を呼んであいさつすること、さん付けで名前を呼ぶことは1年間を通じてその良さを伝えています。

10.「学校は集団の中で自分の役割を果たし、友達とかかわることの大切さに気付くような指導をしている。」についてですが、本校は子ども主体の教育スタイルを重視しています。これは普通の授業から取り入れています。また、運動会や宿泊行事などではスローガンや練習時間、班など自分たちで考え、実施後の振り返りを行うことで成果と課題を明らかにしています。このことを踏まえ次の行事で生かしています。縦割り活動でも大きな成果が得られています。異学年交流では上の学年の子たちは先輩としての立派な態度を求められます。また下の学年の子たちは先輩へのあこがれを持ち自分たちもいつかはそうなりたいとの未来像をイメージするようになります。コロナ禍で縦割り活動、異学年交流ができなくなった3年間でこの力を伸ばせなかった影響は出ています。そのくらい大切な活動です。

13.「学校の子どもの学習活動に対する評価は適切・公平である。」については、学びに向かう力・人間性等、思考力・判断力・表現力、知識・技能の3観点について単元の中で評価しています。個人的な偏った評価にならないよう高嶺小評価基準を策定しています。また、一人一人の児童の評価について学年及び専科、管理職で確認しています。

15.「学校は特別支援教育（特別な支援を必要とする子どもに対しての教育）に取り組んでいる。」については、2点お伝えします。

#### ①校内での支援体制について

入学前の就学相談や幼稚園・保育所との引継ぎから始まり、子ども一人一人の様子を把握していきます。学校生活で子どもたちができるだけ安心して過ごすことができるよう合理的配慮をしていきます。学校で困っている様子が見られたら、まずは校内委員会を開き、どんな場面で困っていたか、どうしてあげれば少しでも困り感が少なくなるかを検討します。次に担任か特別支援教育コーディネーターが保護者に相談をします。場合によっては保護者にお子様の学校での様子を見ていただくこともあります。その上で学校としてできる手立てをお伝えします。ケースによっては特別支援学級「なないろ」を紹介することもあります。またケースによっては療育サービスを紹介することもあります。本校にはスクールカウンセラーも毎週金曜日に勤務しておりますので、保護者やお子様をカウンセラーにつなぐ場合もあります。

#### ②学習を通じた支援について

特別支援教室の先生が毎年4年生に対して「自他理解教育」の授業を行っています。人はそれぞれ個性があり、自分はどのタイプなのかを学びます。その上で友達についても知っていき、お互いの理解を深めていきます。「みんなちがってみんないい」との思いを深めることができる学習です。

高嶺小学校は「地域とともに子どもを育てる」ことをとても大切にしています。そのためにも保護者、地域の皆様に学校の取組みを十分にご理解いただいていることが重要です。今後も保護者会や学校説明会、学校だより、ホームページなどで情報発信に努めていきます。